

様式 8

ニコチン依存症管理料の施設基準に係る届出書添付書類

- 1 禁煙治療を担当する医師（禁煙治療の経験を有する医師が1名以上いること。）

| 氏名 | 禁煙治療の経験 |
|----|---------|
| | 有 ・ 無 |
| | 有 ・ 無 |

- 2 専任の看護師又は准看護師（1名以上いること。）

| 氏名 |
|----|
| |
| |

- 3 当該保険医療機関に備えている呼気一酸化炭素濃度測定器の名称及び台数

| 機種名 | メーカー名 | 台数 |
|-----|-------|----|
| | | 台 |
| | | 台 |
| | | 台 |

- 4 その他（次の事項を満たしている場合に○をつけること。）

ア 禁煙治療を行っている旨の院内掲示をしている。

イ 敷地内が禁煙である。なお、保険医療機関が建造物の一部分を用いて開設されている場合は、当該保険医療機関の保有又は借用している部分が禁煙であること。

- 5 実績等（実績がある場合に記載すること。）

| | | |
|--|----|----------|
| ニコチン依存症管理料の初回の治療の一年間の算定回数 （前年4月1日から当年3月末日までの一年間） | ① | 回 |
| ニコチン依存症管理料の一年間の延べ算定回数 （前年4月1日から当年3月末日までの一年間における初回から5回目までの治療を含む） | ② | 回 |
| ・①及び②に係る期間 | 平成 | 年4月1日～平成 |
| ・治療の平均継続回数＝②／① | | 年3月31日 |
| | | 回 |

[記載上の注意]

- 1 「5」については、平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日までの実績分については、記載が無くても差し支えない。ただし、その場合については、平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までの実績を記載の上、再度届出を行う必要がある。
- 2 「5」について、実績のない保険医療機関が新規で届け出る場合、届出時点においては記載不要だが、過去 1 年間における実績ができ、引き続き算定する場合は、「5」を記載し再度届出を行う必要がある。
- 3 実績期間は、前年 4 月 1 日から当年 3 月 31 日までの期間とする。ただし、新規の届出を年度途中でを行う場合は、当該届出により算定を開始した月から翌 3 月までの期間における実績をもって、翌年度 7 月以降に算定する所定点数を判断する。